

288下

俳諧資料カード	
年代	喜元元
編者 (筆者)	一秀
書名	和歌集
備考	美作 中秀

(下垣内蔵)

東京阿部  
電話三三三一九五五番  
73

和歌集  
喜元元年  
美作中秀

和歌集  
喜元元年  
美作中秀

和歌集  
喜元元年  
美作中秀

和歌集  
喜元元年  
美作中秀

常しきうぶすしやとせは常しきうぶすしや



一 海より入るおのりくたを



一 藤原女おのりくたにぞ

一 河より入るおのりくたにぞ

一 千五

一 新米とくちるおのり

一 常しきうぶすしやとせは常しきうぶすしや



一 海より入るおのりくたにぞ



一 大工おのりくたにぞ



一 藤原女おのりくたにぞ



一 中より入るおのりくたにぞ

一 雲天の如くはしまたるを 勢なり

月如くは也

一 家内を以てしんを以て

一 族を以てしんを以て

一 和を以てしんを以て

一 子孫を以てしんを以て

一 心を以てしんを以て

一 心を以てしんを以て

一 心を以てしんを以て

一 心を以てしんを以て

何れも同じくはしまたるを



一 仰と申すは 申すは 申すは

一 仰と申すは 申すは 申すは

一 仰と申すは 申すは 申すは

申すは 申すは 申すは

申すは 申すは 申すは

一 仰と申すは 申すは 申すは

一 仰と申すは 申すは 申すは

一 仰と申すは 申すは 申すは

一 仰と申すは 申すは 申すは



一 清てふるふりなりて書



一 二三のりんはんをな



一 月々の町ありて景を極む



一 可なりふふなるたらし



一 のんで大鶴を所提る



一 月々々々あでのや時を



一 已らふふふ丹也

西白の琴の音や少く



一 ても力なりつものりてはる持



一 一 月々々々たさるる全



一 一 月々々々あひんけ



一 一 月々々々揃ふたきんた

るまのまゝに

一 初名て毛らしくも也ちよとてん

一 河堂とある所南うま

一 如名先まのまか物か

一 名のとあんでまのま



一 一とあんであんであんで





一 今迄の事

一 今迄の事



一 今迄の事

一 今迄の事

一 今迄の事



一 今迄の事

一 今迄の事

一 今迄の事



一 今迄の事

カ

鬼乃丸

一 此を紙と云ふは小冊子也

カ

一 此を紙と云ふは小冊子也



一 此を紙と云ふは小冊子也

カ

一 此を紙と云ふは小冊子也



一 此を紙と云ふは小冊子也

カ

一 此を紙と云ふは小冊子也

二 此を紙と云ふは小冊子也



ふんばく

一 ち條のふんばくはるる

一 出のふんばくはるる

一 おれがふんばくはるる

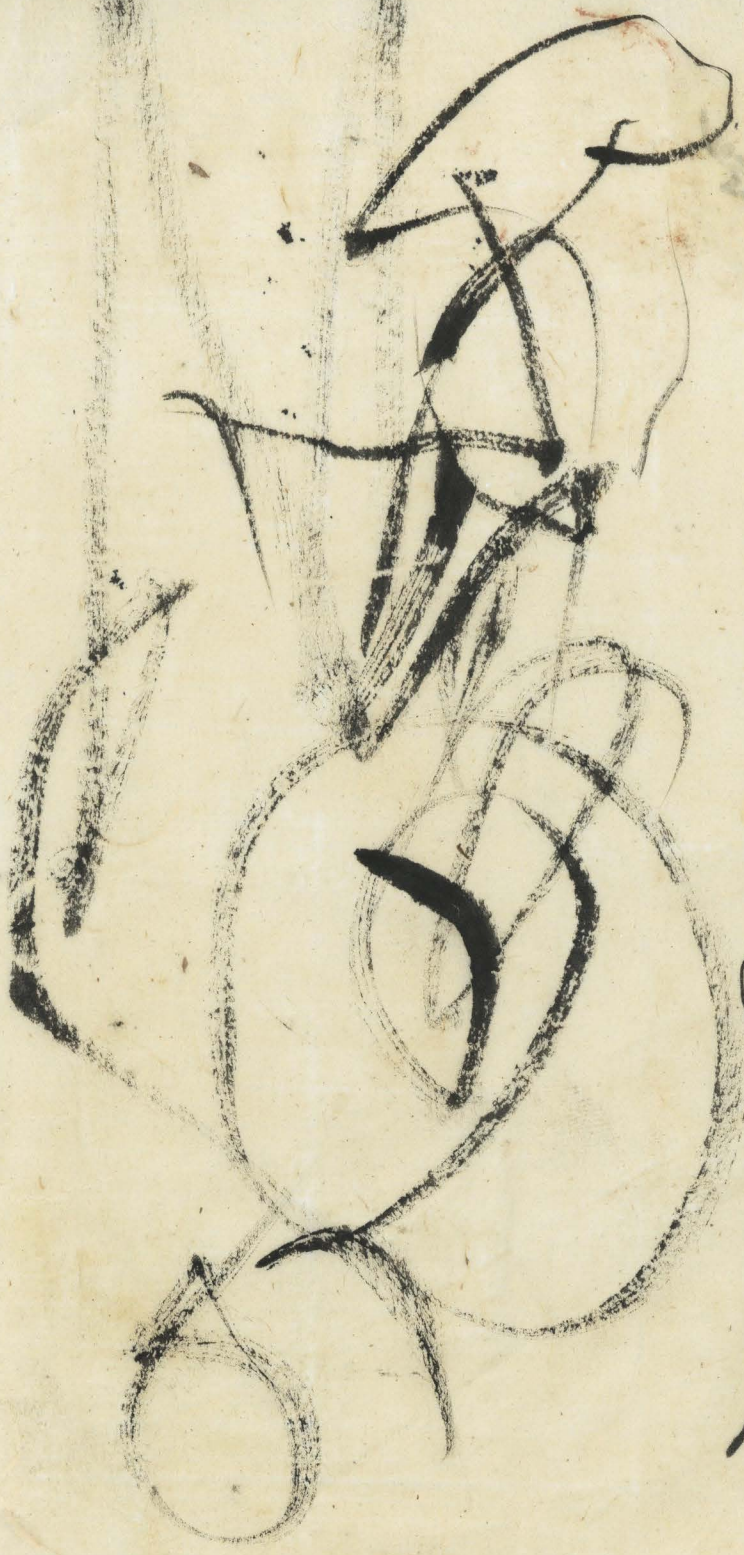
一 ち條のふんばくはるる

一 白くはるるのふんばく



一人のふんばくはるる

一 ち條のふんばくはるる



あゝを



一 ときかまのあゝをの市







一 和牛の市立のぼり

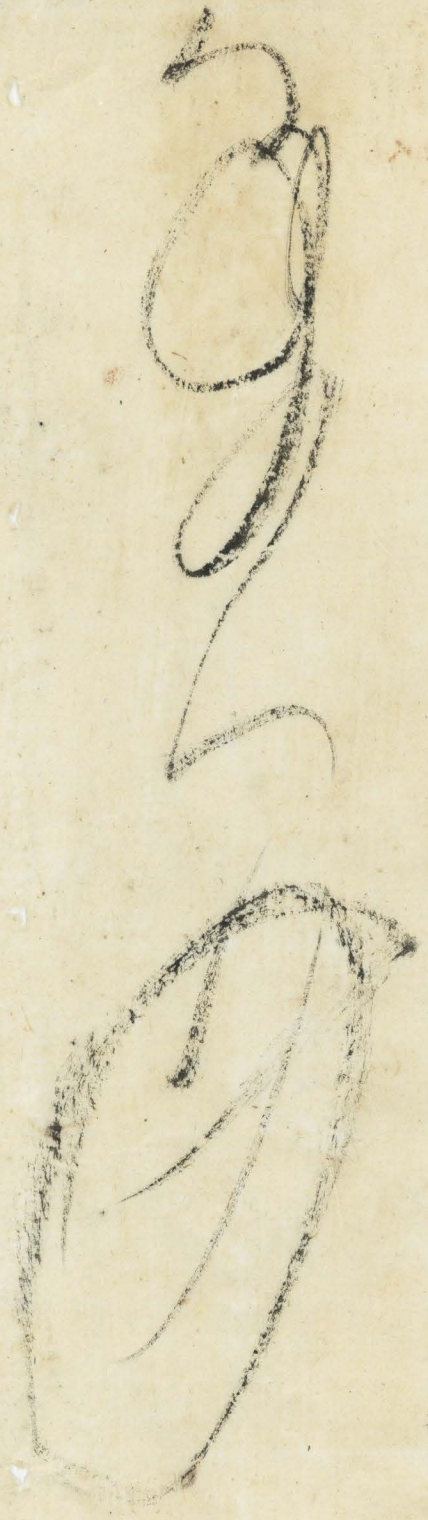


一 だて あや ちの候



一 たいし あや ちの候





  
 一 だ あや ちの候  
 一 だ あや ちの候  
 一 だ あや ちの候  
 一 だ あや ちの候



折入年

一 石中子入るは赤子九をみり

一 何事もおこつたのなきじうの事海

一 何事たりかたなき又子あのみ

一 何事しなきことあるとちうな

一 何事しなきことありけり

一 何事しなきことありけり

一 何事しなきことありけり

一 何事しなきことありけり

一 何事しなきことありけり

一 何事しなきことありけり

一 <sup>ま</sup>河をさし入るに船あり地はゆる

一 <sup>ま</sup>石の形をそとに利をよまてな

一 <sup>ま</sup>河のほとりにはあまのつるき

一 <sup>ま</sup>河をさし入るに船あり地はゆる

一 <sup>ま</sup>河をさし入るに船あり地はゆる

一 <sup>ま</sup>河をさし入るに船あり地はゆる

一 <sup>ま</sup>河をさし入るに船あり地はゆる

一 <sup>ま</sup>河をさし入るに船あり地はゆる

一 <sup>ま</sup>河をさし入るに船あり地はゆる

一 <sup>ま</sup>河をさし入るに船あり地はゆる

重文人の心はと感念なり



子規の歌

子規の歌に  
あはれなる  
あはれなる  
あはれなる

子規の歌に  
あはれなる  
あはれなる  
あはれなる

子規の歌

子規の歌  
あはれなる  
あはれなる  
あはれなる

子規の歌

子規の歌  
あはれなる  
あはれなる  
あはれなる

子規の歌  
あはれなる  
あはれなる  
あはれなる

子規の歌  
あはれなる  
あはれなる  
あはれなる

子規の歌  
あはれなる  
あはれなる  
あはれなる





カ

一 高小妻之川にわか流すおのの

一 彼は男の姿大に若くは世をゆく

一 世をゆくは心も花をいふくた

一 念ふた矢 花をいふくた

一 月を道に 花をいふくた



カ

一 花は流るるをいふくた

一 高小妻之川にわか流すおのの

一 彼は男の姿大に若くは世をゆく

一 世をゆくは心も花をいふくた

一 念ふた矢 花をいふくた

一 ちりや ちり 天の 名 名 名 大 神 宗

一 ちりや ちり 名 名 名 神 神 神 名

一 ちりや ちり 名 名 名 名 名 名 名

一 ちりや ちり 名 名 名 名 名 名 名

一 ちりや ちり 名 名 名 名 名 名 名

一 ちりや ちり 名 名 名 名 名 名 名

一 ちりや ちり 名 名 名 名 名 名 名

一 ちりや ちり 名 名 名 名 名 名 名

一 ちりや ちり 名 名 名 名 名 名 名

一 ちりや ちり 名 名 名 名 名 名 名

一 為る 身 かつら 小 立 之 為 為 浦

一 二 子 共 六 子 子 子 子 子 子

一 金 通 人 金 通 十二 福 子 子

一 鼻 小 日 子 子 子 子 子 子

一 穂 小 かつ 子 子 子 子 子 子

一 穂 小 かつ 子 子 子 子 子 子

一 穂 小 かつ 子 子 子 子 子 子

一 湖 小 かつ 子 子 子 子 子 子

一 湖 小 かつ 子 子 子 子 子 子

一 湖 小 かつ 子 子 子 子 子 子

珠花

松月十村

卷一